

登録医ニュース

メタセコイア

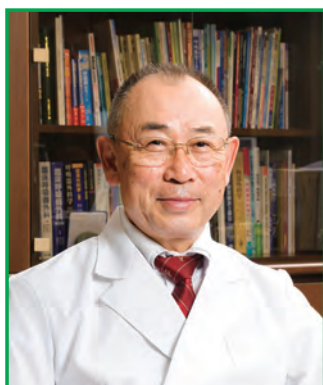
第44号
2018.1

編集・発行/東北医科薬科大学病院 医療連携センター

〒983-8512 宮城県仙台市宮城野区福室1丁目12番1号 Tel(022)259-1221(代表)
Tel(022)388-9593(医療連携センター直通) Fax(0120)25-9121(医療連携センター直通)
Eメールrenkei@hosp.tohoku-mpu.ac.jp ホームページhttp://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp

診療の充実に向けて

～地域医療を支える医師を育成するために～

東北医科薬科大学病院 病院長 ^{こんどう たかし} 近藤 丘

明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本院が東北医科薬科大学病院として新たなスタートを切り、早くも2年近くを経過しようとしております。建設中の医学部の施設はこの1月に竣工して医学部キャンパスとしての体裁が整い、3月からは医学部の基礎医学教室や事務部門が移転して来るとともに4月以降は学生の講義も福室で行うようになりますので、現在の病院を含む福室キャンパスに集う人員が一気に増加します。

また、4月には臨床系教員を中心とした医師も30名近く増え、さらに採用予定の初期臨床研修医を加えますと医師数が200名近くになることが見込まれます。臨床系教員である医師につきましては、従来の病院内の居室から医学部の研究室に移動になります。このため病院内に利用可能なスペースをある程度確保できることとなりますが、すでに生じている不足スペースの充足を優先せねばならず、診療スペースの拡張には1年後の新病院棟の完成を待たねばならない現状が本年も続きます。

そのような中、この4月に脳神経外科と形成外科が開設されることや外来化学療法室が手狭になったこと、外来の患者数が増加しており採血業務の増大や待合スペースが不足していることなどから、昨年プレハブ棟を新設して喫茶室や理髪店を移設し、さらに外来カルテ室の整理などを実施して、十分とは言えないながらも病院内にスペースを確保しました。これにより、外来化学療法室の移設拡充、脳神経外科と形成外科の外来の新設、中央採血室の移設拡充などを計画しています。これに加えて平成31年度の産科分娩の開始に備えて今年度は分娩室など産科関連の施設整備も併せて行う予定です。

脳神経外科、形成外科そして産科診療の開始により、名実ともに先進医療の実践の場としての大学病院の機能を備えた病院としての完成形に近づいたと言えますが、同時に診療看護師を導入したチーム医療としての新たな地域医療の創出など、地域医療への貢献につきましてもより一層力を入れていかねばならないと考えております。本院の施設、設備、人員が遺憾無くその機能を発揮し、より一層の成長を遂げるためには、地域の皆様、登録医の皆様の力強いご支援を欠かすことができません。本年も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

小児科のご紹介

小児科科長 おがわ 小川 えいしん 英伸

当院小児科の歴史はさかのぼること健康保険宮城第一病院時代の1958年に始まります。1982年にこの高砂地区に移ってから2008年に小児科閉鎖となるまでの東北厚生年金病院時代は、地域の皆様に支えられながら活気ある小児医療を提供していたことは皆様ご存知の通りです。

2016年4月に東北医科薬科大学病院となって、およそ7年半ぶりに小児科が復活しました。再開後1年半が過ぎ、だいぶ小児科の認知度も高まっているものと思っております。

現在スタッフは4名で、感染症を中心とした一般小児科診療をメインにしていますが、徐々に専門外来を拡充中です。内分泌専門の小川は主に成長障害、腎臓専門の森本は血尿蛋白尿や夜尿症のご紹介を多く頂いています。藤井は消化器を専門にしており、今回は次ページに最近多い子どもの便秘について解説していますので、どうぞ一読ください。育休後の市川は女性らしい細やかな対応で子ども達とお母様方から好印象を得ています。また非常勤ですが、今年春着任する北沢（現在宮城県立こども病院）が一足早く昨年10月からアレルギー外来を開設しました。早速次々と予約が入っており、ニーズの高さを実感しております。2018年4月以降は入院での食物経口負荷試験、アトピーの入院なども対応させていただきますのでアレルギー外来の予約、受診をお待ちしております。

今後さらに充実した小児科とすべく、体制を整え、連携医の先生方も含めた地域の方々に信頼される医療を提供することを目指しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

小児科外来医師一覧表

	月	火	水	木	金
小児科	森本 哲司	藤井 喜充	小川 英伸	森本 哲司	藤井 喜充
	市川 由香里	市川 由香里	市川 由香里	市川 由香里	市川 由香里
アレルギー外来	[午後] 北沢 博				

小児科受診について

予約は連携センターにご連絡下さい。なお当日受診も可能ですので紹介状をご持参の上、8時30分～11時30分にお越し下さい。

アレルギー外来は完全予約制になりますので連携センターにてご予約下さい。

連携センター直通番号 電話 022-388-9593、FAX 0120-25-9121



左から 市川由香里医師、森本哲司医師、小川英伸医師、藤井喜充医師

こどもの便秘症治療の新しい試み

小児科 藤井 喜充

大人と同様に小児も便秘症で苦しんでいます。特に大人のように症状を訴えることができない幼児では、腹部ほぼ全体が便塊で満たされていることも稀ではありません（図1）。

大人の便秘症の診療ガイドラインは、本年やっと目の目を見ましたが、それに先駆けること4年前の2013年、「小児慢性機能性便秘症診療ガイドライン」が、日本小児栄養消化器肝臓学会と日本小児消化管機能研究会の合同作成で発表されました。

小児では保険診療で使用できる薬剤が極めて少なく、ガイドラインが作成された当時は 1) ラクトコース、2) ピコスルファートナトリウム、3) ピサコジル（坐薬）、4) グリセリン（浣腸）、

のみでした。その当時大人では、クロライドチャンネルを活性化させ、自然な形で腸液分泌を亢進させる、全く新しい作用機序の薬であるルビプロストン（商品名アミティーザ）が発売開始となりました（図2）。2017年11月現在、アミティーザは小児に適応はありませんが、既に「小児慢性機能性便秘症診療ガイドライン」にも記載されています。

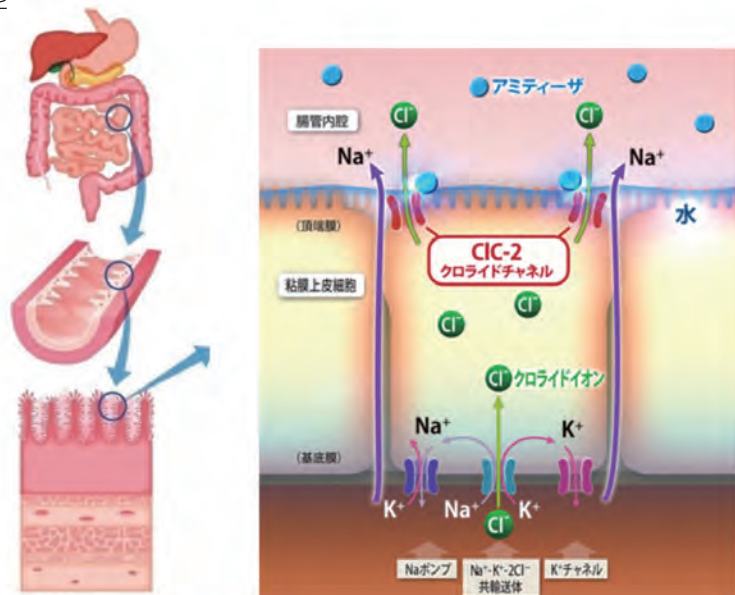
アミティーザは飲み始めの吐き気を乗り越えることができれば、この1種類で入院治療手前レベルのやや重症な便秘症でもコントロールできます。従来の下剤と異なり、効きすぎてひどい下痢や腹痛で悩まされることもない、極めて優れたカプセル剤です。

当科では他の下剤が無効であった患者様には、同意していただければ各種申請手続きを経て、外来で処方しています。

図1



図2



マイランEPO合同会社提供資料を一部改訂

小児科アレルギー外来のご紹介

対象疾患

- 気管支喘息
- 食物アレルギー
- アレルギー性鼻炎
- アレルギー性結膜炎
- アトピー性皮膚炎
- アナフィラキシー（食物依存性運動誘発アナフィラキシーを含む）
- 蕁麻疹
- 新生児・乳児消化管アレルギー
- 化学物質過敏症

診察日

毎週月曜日 予約制となりますので事前予約願います。

予約時間 14:00 1名 15:00 1名 16:00 1名 です。

受付方法

紹介状に予約希望日を記載し連携センターまでFAXを送信下さい。

希望日が無い場合は最短でお取りできる日に予約いたします。

予約は医療機関の方のみお取りいただけます。患者さんからお電話をいただいても予約はお取りできませんのでご注意ください。

申込先

連携センター 電話 022-388-9593（直通） FAX 0120-25-9121（直通）

ご挨拶

アレルギー外来 きたざわ ひろし
北沢 博

こどものアレルギー疾患は近年増えており、今では小学生の約5%が食物アレルギーと診断されています。アレルギー疾患は命を直接脅かすことは少ないですが、こどもにとって生活で制限を強いられることが心理的、社会的に弊害をもたらします。アトピー性皮膚炎でプールに入れない、喘息で運動ができない、食物アレルギーで皆と同じ給食が食べられないなど、こどもにとって非常に辛いことです。そのようなこどもが必要最小限の制限のなか、すくすく、楽しく成長できるようにアレルギー専門医として正しく評価し、診療いたします。保護者の心配の強い疾患でもあり、気楽にご相談ください。よろしく申し上げます。



仙台PTCAネットワーク・ライブデモンストレーション 2017を開催いたしました

仙台 PTCA ネットワーク世話人
東北医科薬科大学病院 循環器内科

副院長 片平 美明
かたひら よしあき



平成 29 年 10 月 20 日、21 日に仙台 PTCA ネットワーク・ライブデモンストレーション 2017 が開催されました。宮城県内の冠動脈インターベンション治療（カテーテルを用いた治療）を行っている主要な施設のメンバーで構成される仙台 PTCA ネットワーク（ホームページは http://3french-world.sakura.ne.jp/sendai_network_live/）が 1 回 / 年開催しているライブデモンストレーションです。より良い治療を目指し、日本中から来ていただいた冠動脈治療に携わるエキスパートの先生方とディスカッションを行いながらカテーテル治療を進めていく研究会です。

平成 13 年（2001 年）に第 1 回の仙台 PTCA ネットワークライブを開催し、今回で 15 回目の開催となります。この間、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災も乗り越え、開催を続ける事ができましたことは、たくさんの方々のご支援の賜物と感謝している次第です。あらためて、御礼申し上げます。

平成 29 年 10 月 20 日は仙台サンプラザで、東北地方の 5 つの病院（岩手県立中央病院、いわき市立総合磐城共立病院、山形大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院、気仙沼市立病院）



で収録されたビデオを放映し、カテーテル治療についての熱心なディスカッションが行われました。その後のサテライトミーティングの特別講演では、帝京大学医学部の上妻謙先生から「PCI 後抗血栓療法 of the 最近の動向」のタイトルで最新の抗凝固療法の動向を聞く事ができました。

10 月 21 日は仙台オープン病院と当院（東北医科薬科大学病院）のカテ室から仙台サンプラザの会場に冠動脈インターベンション治療（PCI）の中継を行い、サンプラザの会場の先生方と中継を通して治療の内容、方針等をディスカッションしながら、実際の治療を進めていきました。本年は、仙台オープン病院で 4 例、東北医科薬科大学病院で 10 例の症例（合計 14 症例）の治療を行っております。東北医科薬科大学病院には、湘南鎌倉総合病院の齋藤滋先生、時計台記念病院の五十嵐康己先生、心臓血管研究所附属病院の及川裕二先生、東海大学医学部附属病院の吉町文暢先生、いわき市立総合磐城共立病院の山本義人先生、はくほう会セントラル病院の舛谷元丸先生、東海大学医学部附属八王子病院の松陰崇先生、仙台市立病院の三引義明先生の合計 8 名の先生をお招きし、慢性完全閉塞等の治療が困難な症例のインターベンション治療をしていただきました。すべての治療が終了できたのは午後 8 時を過ぎておりましたが、すべての症例の治療を成功する事ができ、患者さん、家族の方々もその結果に満足されているようでした。

仙台 PTCA ネットワークライブは、東北地方の冠動脈インターベンション治療の進歩を目指し、仙台オープン病院の加藤敦先生を代表世話人として、宮城県内の専門の先生方と一緒に開催して参りました。今後も、新しい治療技術を取り入れていながら、他職種と連携したハートチームとして、地域医療に貢献できる医療を提供できればと考えております。



～連携センターからのお知らせ～

消化器内科検査予約について

当院は平成29年9月から消化器内科の検査予約をお取りしておりますのでぜひご利用下さい。

予約は医療機関の方のみお取りいただけます。

患者さんからお電話をいただいても予約はお取りできませんのでご注意下さい。

～検査当日の流れ～

- 1 2番新患窓口にて受付をしてください
- 2 受付後検査を行います
- 3 検査終了後、消化器科外来にて医師の診察があります
- 4 診察後、治療が必要な方は次回予約を取りますが、異常がない方は終了となり帰宅となります。
ご紹介をいただいた先生方へはお返事をご郵送いたします。

予約可能な検査項目

- 上部内視鏡
- 腹部超音波検査

検査日

月曜日、火曜日、木曜日

予約方法

紹介状に予約希望日と検査項目を記載の上、連携センターまでFAXにて送信して下さい。
希望日の記載が無い場合は最短でお取りできる日で予約いたします。

申込先

連携センター 電話 022-388-9593（直通） FAX 0120-25-9121（直通）

登録医の先生方へお願い

現在、泌尿器科の受診について待ち時間が長く、ご紹介いただいた患者さんにはご迷惑をおかけしており大変申し訳ございません。

待ち時間を緩和するためにも先生方にはお手数ですが受診予約を取っていただきますようご協力をお願い申し上げます。

予約方法

紹介状に予約希望日を記載し連携センターまでFAXを送信下さい。

希望日が無い場合は最短でお取りできる日に予約いたします。

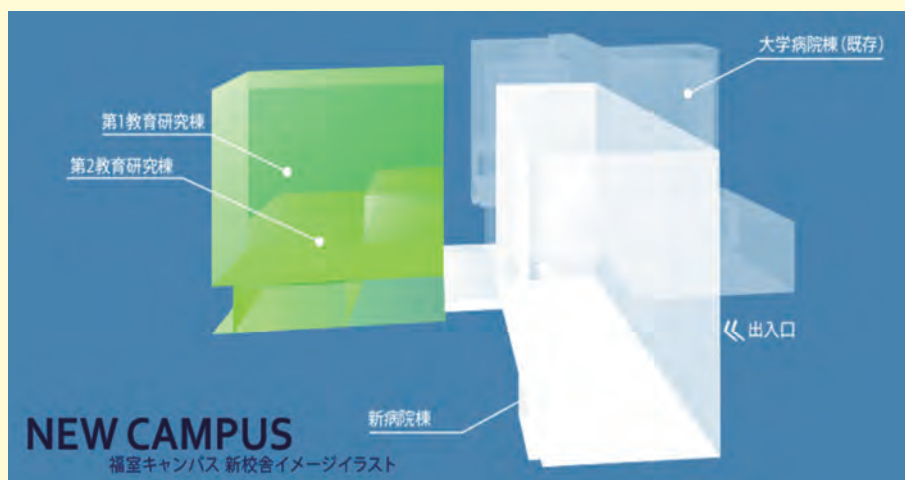
予約は医療機関の方のみお取いただけます。患者さんからお電話をいただいても予約はお取できませんのでご注意下さい。

急患の場合は泌尿器科外来もしくは連携センターにご連絡下さい。

申込先

連携センター 電話 022-388-9593（直通） FAX 0120-25-9121（直通）

～新大学病院棟ができるまで 第4回～



新築する医学部教育研究棟(延面積 17,297.6 m²)は、第1教育研究棟(地上7階、延面積 14,995.47 m²)と第2教育研究棟(地上2階、延面積 2,302.13 m²)の2棟により構成され、工期は平成28～29年度の2年間となっています。平成28年4月に入学した医学部一期生が3年次となる平成30年4月には、実習の場として講義も福室で行うようになりますので、現在の病院を含む福室キャンパスに集う人員が一気に増加します。



2016.12.26
第2教育研究棟は屋上および内部の設備工事を行っています。
第1教育研究棟は引き続き、高層部の鉄骨建方を進めています。



2017.1.28
第2教育研究棟は内部の仕上げ工事を行っています。
第1教育研究棟は引き続き、高層部の鉄骨建方を進めています。



2017.2.22
第2教育研究棟は建物が完成し、機器備品の搬入を行っています。
第1教育研究棟は7階までの鉄骨建方が完了しました。



2017.3.31
第2教育研究棟は機器備品の搬入が完了し、使用を開始しました。
第1教育研究棟は低層部の外壁工事、高層部の床工事を行っています。



外来診療担当一覧表

平成30年1月1日現在



東北医科薬科大学病院

電話 022-259-1221(代表)

電話 022-388-9593(医療連携センター直通)

FAX 0120-25-9121(医療連携センター直通 FAX)

階	診療科	月	火	水	木	金		
1F	消化器内科	新患 診察室④ 新患 診察室⑤ 再来 診察室⑥ 再来 診察室⑦	佐藤賢一 廣田衛久 小暮高史 近藤帆帆	米地真 近藤史帆 目黒敬義 遠藤克哉	佐藤賢一 近藤遠藤 小暮高之	目黒敬義 遠藤克哉 廣田衛久 米地真		
	外科	新患 診察室① 再来 診察室② 診察室③	岩指元 木村俊一	柴藤近 長尾宗紀	片寄友 岩指元 新患 再来 中片野徹友	小川仁 小兒山香 武山大輔	中野徹 荒木孝明 小川仁	
	肝胆脾 が治療(臓器)	新患 診察室④ 乳癌外来・ 内分泌外科 再来 診察室⑦	片寄友 鈴木昭彦 朴英進	児山香 朴英進 朴英進	児山香 朴英進 鈴木昭彦	朴英進 鈴木昭彦 鈴木昭彦	鈴木昭彦 鈴木昭彦 鈴木昭彦	
	呼吸器内科	新患 診察室② 再来 診察室① 新患・午後 診察室②	海老名雅仁 佐藤希仁 海老名雅仁	阿部達也 吉成央 海老名雅仁	大野勲 小林隆夫	海老名雅仁 佐藤希仁 海老名雅仁	大類孝 阿部達也	
	同病性肺炎・ ウイルス感染症 感染症内科	診察室①	関雅家			関雅家		
	呼吸器外科 新患・再診 診察室④	手塚則文	田畑俊治	菅原石橋	田畑俊治	田畑俊治	田畑俊治	
	循環器 内科	新患 診察室① 診察室② 再来 診察室③	片平美明 門脇心平 宮下武彦	片平美明 門脇心平 宮下武彦	山家実 長谷川薫 小丸達也	山家実 長谷川薫 中野陽夫	中野山家 菊田寿子 関口祐子	
	心臓血管外科	診察室④	三浦川本		三浦川本/清水		三浦川本/清水	
	血液・ リウマチ科	新患 再来 午前 午後 注意:血液疾患 は診察しており ません。 再来 午前 午後	武田朋樹 小寺隆雄 小寺隆雄 岡友美子	武田朋樹 小寺隆雄 小寺隆雄 岡友美子	小寺隆雄 竹下美紀	岡友美子 武田朋樹	岡友美子 小寺隆雄 小寺隆雄 竹下美紀 武田朋樹	
	整形外科	新患・再診 〈専門外来〉	千葉晋平 小澤浩司 佐野徳久	〈関節〉 佐野徳久 石塚正人	〈骨粗鬆症〉 石塚正人	〈脊椎〉 小澤浩司	第1,3 第2,4 峯岸千 館田聡	
	糖尿病代謝 内科	診察室① 診察室② 診察室③	新患 丹治泰裕 再来 三田貴士 再来 善積信介	再来 丹治泰裕 新患 三田貴士 再来 善積信介	新患 赤井裕輝 再来 渡辺太裕 再来 渡辺泰裕	再来 渡辺太裕 再来 赤井裕輝 新患 善積信介	再来 赤井裕輝 再来 三田貴士 再来 三田貴士	
	小児科	市川由香里 アレルギー外来 午後 隔週	森本哲司 北沢博 手塚明郎	市川由香里 市川由香里	小川英伸 市川由香里	市川由香里 市川由香里	市川由香里 市川由香里	
	禁煙外来		手塚明郎					
	神経内科	新患 再来 再来	中島一郎 石垣あや 第1,3 応援医師	小林理子 菊池大 藤盛寿一	小林理子 藤盛寿一	藤盛寿一 中島一郎	中島一郎 小林理子 菊池大	
	救急科 総合診療科		遠藤・大村/佐藤・大原 住友和弘 古川勝敏	遠藤・大村/大原 住友和弘 佐藤滋	遠藤・大村/住友・佐藤 濃沼信夫 大原貴裕	遠藤・大村/大原 宮澤イザベル 佐藤滋	遠藤・大村/住友・大原 大原貴裕 宮澤イザベル	
	泌尿器科		福崎篤	佐藤信 伊藤/阿南/岩村	海法康裕 伊藤/阿南/岩村	佐藤信 伊藤/阿南/岩村	海法康裕 伊藤/阿南/岩村	
	2F	耳鼻咽喉科	鈴木貴博 粟田口敏 東海林史子 午後 松山古積誠	隔週 粟田口/東海林 太田伸男 野口直哉	太田伸男 粟田口敏一 野口直哉	東海林史 野口角田 高橋由紀子	粟田口敏一 角田梨紗子	
		放射線科		小山周樹	小山周樹	小山周樹	応援医師	
		歯科口腔 外科	新患・再来 口腔外科	細谷周誠 篠原文明	細谷周誠 宮下仁	細谷周誠 篠原文明	細谷周誠 篠原文明	細谷周誠 篠原文明
		腎臓	再来 再来 再来	衣笠哲史 室谷嘉史 中村はな	新患 新患 新患 衣笠哲史 室谷嘉史 中村はな	再来 再来 再来 森建文家 佐藤山家	新患 新患 新患 森建文家 室谷本 中村はな	再来 再来 第2,4 井樋慶一 小猿恒志
		内分泌		岡昌宏	小猿恒志	岡昌宏		
		皮膚科	診察室①	岡昌宏	小猿恒志	岡昌宏		
		眼科	再診 午前 診察室① 午後 再来 再診 午前 診察室② 午後 新患 診察室③	高橋秀肇 西郷西川 西郷陽子	多田麻子 西川将平 西川将平	多田麻子 西郷陽子 西川将平	高橋秀肇 多田麻子 多田麻子	西郷陽子 多田麻子 西川将平
		精神科	診察室①(午前) (午後) 診察室②(午前) (午後) 診察室⑤(午前) (午後)	新患 鈴木映二 再来 鈴木映二 新患 鈴木映二 再来 鈴木映二 新患 鈴木映二 再来 鈴木映二	新患 吉村淳 再来 吉村淳 新患 丹生谷正史 再来 丹生谷正史 新患 中川誠秀 再来 中川誠秀	新患 山田和男 再来 山田和男 再来 鈴木映二 再来 鈴木映二 新患 中川誠秀 再来 中川誠秀	新患 丹生谷正史 再来 丹生谷正史 新患 鈴木映二 再来 鈴木映二 新患 吉村淳 再来 吉村淳	新患 山田和男 再来 山田和男 再来 吉村淳 再来 吉村淳 新患 鈴木映二 再来 鈴木映二 新患 鈴木映二 再来 鈴木映二
		腫瘍内科		下平工藤	中川誠秀	三田地工藤	工藤下平	工藤下平
		リハビリ テーション科	新患 再来 リハビリ前診療	内海由也 三浦裕裕	伊藤修 伊藤修	室谷嘉一	内海由也	高橋麻子
		産婦人科	初診 再診 13時~15時 再診	深谷孝夫 喜多川亮	伊藤修 渡部透 中西透	深谷孝夫 喜多川亮	内海由也 中西透	高橋麻子 深谷孝夫 喜多川亮
		もの忘れ外来	新患	精神科担当医	総合診療科担当医	精神科担当医	総合診療科担当医	神経内科担当医

※都合により担当医師が変更している場合があります。